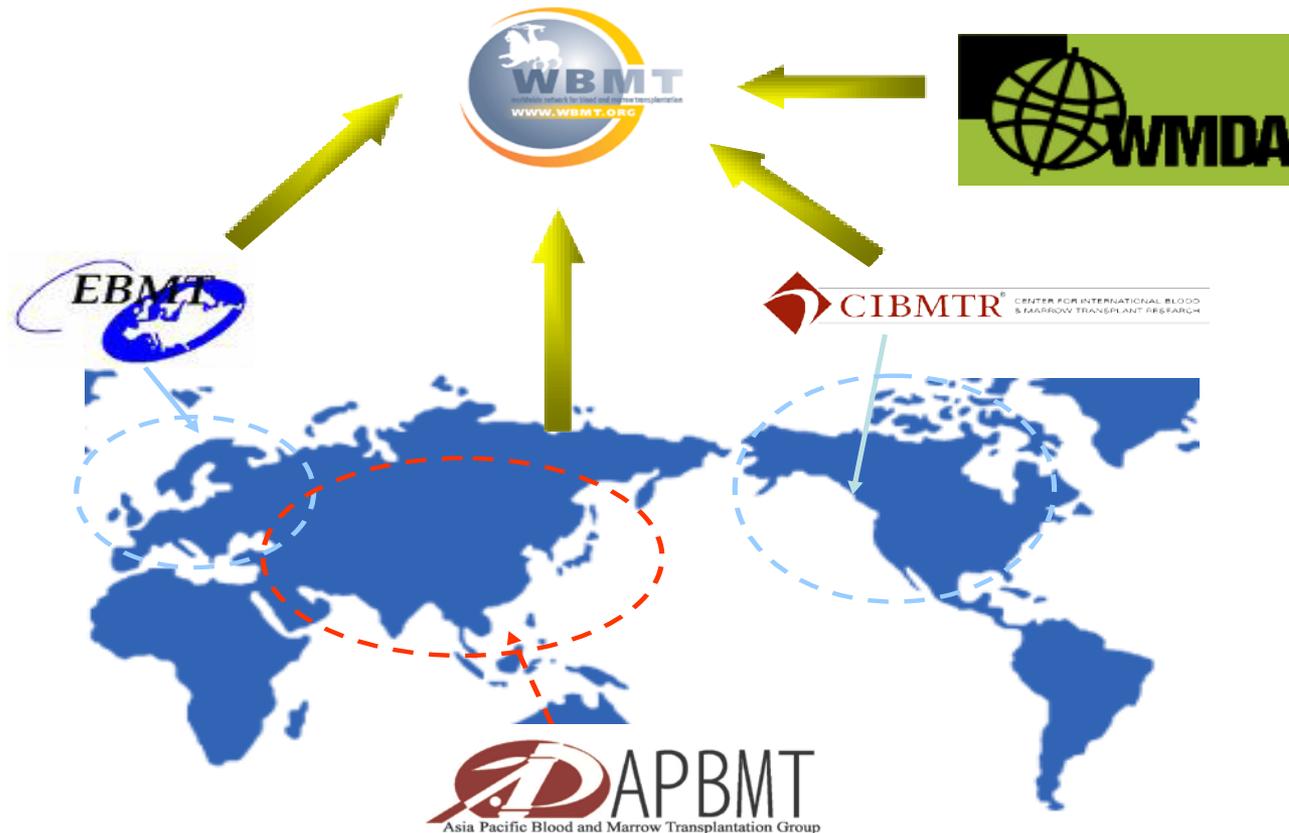


# 国際協力について

# 血液及び骨髄移植のための世界的ネットワーク(WBMT)について

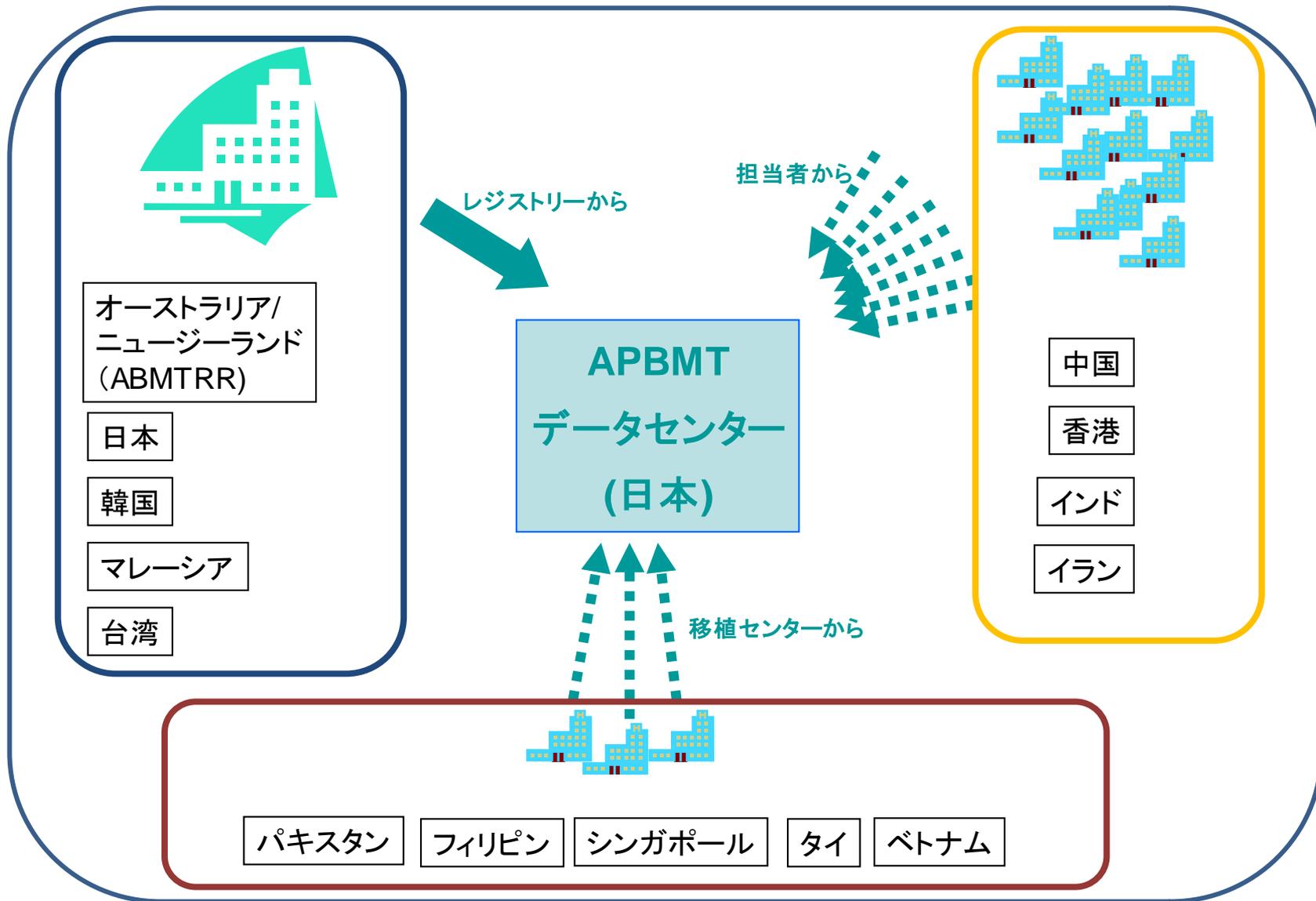
WBMTは世界保健機関の公認非政府組織であり、造血幹細胞移植分野における国際協力の基盤となっている。

WBMTは、造血細胞移植(HCT)、幹細胞の提供と細胞療法の卓越性を促進する、非営利非政府組織である。国際血液骨髄移植研究センター(CIBMTR)、アジア太平洋血液骨髄移植グループ(APBMT)、血液・骨髄移植のための欧州グループ(EBMT)、世界骨髄ドナー協会(WMDA)の世界中の4つの先駆的幹細胞移植団体によって2006年に成立された。現在、WBMTは世界に広がるネットワークに19の会員組織を擁し、幹細胞移植のコミュニティの代弁者となっている。(WBMT Press Release日本語版より抜粋)



# アジア太平洋血液骨髄移植グループ (APBMT) について

APBMTはWBMTの設立メンバーであり、日本はAPBMTで中心的な役割を担っている。



# 世界の造血幹細胞移植件数（2008年）

アジア、アメリカ、ヨーロッパを中心に造血幹細胞移植は実施されており、2012年12月に世界の累計移植件数は100万例を突破した。

地域	同種移植	自家移植	総数
アジア/西太平洋地区	6130	3705	9835
南北アメリカ	6769	7656	14425
ヨーロッパ	10070	15513	25583
中東/アフリカ	898	571	1469
合計	23867	27445	51312

# アジア太平洋地域の造血幹細胞移植数と移植センター数

日本の造血幹細胞移植数と移植センター数は、アジア太平洋地域で最も多い。

	造血幹細胞移植数 (2009)	移植センター数 (2009)	造血幹細胞移植数 (1986 – 2009)
日本	4,425	381 *1	51,861
韓国	1,672	43	14,060
中国	1,417	38	6,628
オーストラリア	1,327	41	17,532
インド	562	24	1,532
台湾	388	16	3,341
イラン	366	6	2,812
マレーシア	213	10	1,703
ニュージーランド	201	6	1,875
タイ	163	5	1,386
香港	149	2	2,135
シンガポール	133	5	1,241
パキスタン	49	2	268
ベトナム	11	3	92
フィリピン	2	1	29
<b>合計</b>	<b>11,078</b>	<b>583</b>	<b>106,495</b>

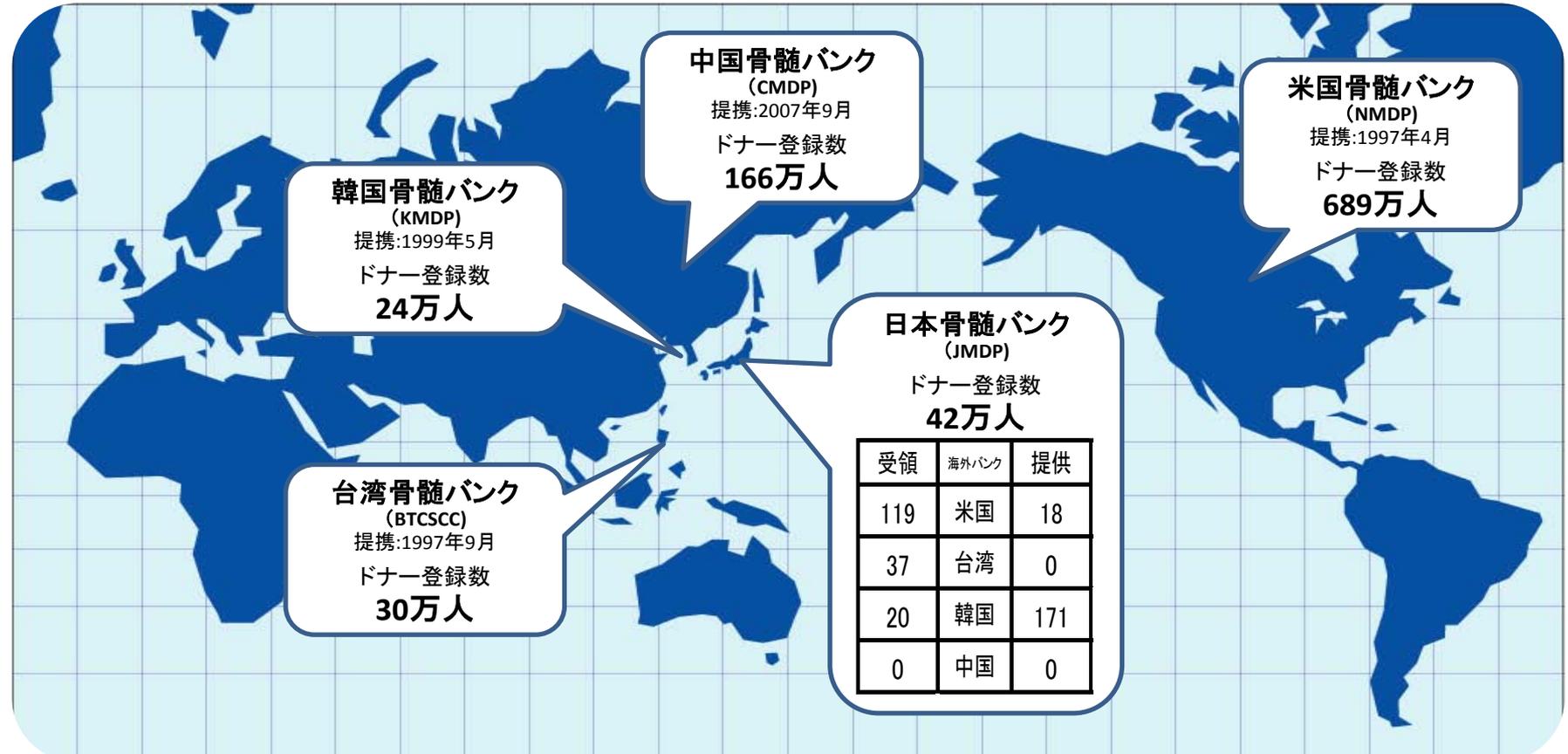
※WBMTデータ

\*1 診療科数



# 世界の骨髄バンクとの連携状況

世界の骨髄バンクと連携し、骨髄の提供及び受領が行われている。



《提携していないバンクへの日本からの提供数》（受領は上記の提携バンクからのみ）

出典:ドナー登録数は世界骨髄データ集計システム(BMDW)より

国名	提供数
香港	9
英国	3
オランダ	1
オーストラリア	3
ブラジル	2

国名	提供数
ドイツ*	6
ベルギー	2
カナダ	2
シンガポール	1

\*ドイツ4件のうち1件は、ドイツバンクを通じてロシアの移植施設へ提供

国名	提供数
フランス	2
オーストリア	1
イタリア	1
タイ	1

合計	
受領	提供
176	223

※すべてのデータは2013/3末現在  
※ 出典:骨髄移植推進財団

# 臍帯血の海外への提供について

- 臍帯血移植については、
  - 世界の臍帯血移植の約3分1は日本で実施されている
  - 日本は移植に利用する臍帯血を国内で賄っている
  - 韓国などから臍帯血提供の依頼が行われるケースも存在
  
- しかしながら、以下のような理由から、臍帯血の海外への提供は行われていない。
  - 日本の臍帯血の基準について国際的な評価が定まっていない
  - 海外の移植施設との統一的なコミュニケーション窓口がない
  - 価格設定がなされていない
  
- 今後、以下のような課題も踏まえながら、人道的見地からも海外への提供について検討が必要ではないか。
  - 国際基準との調和を考慮した我が国の臍帯血基準の設定
  - 国内需給に影響が出ないような総量規制
  - 国際的な統一窓口の設定
  - 他の造血幹細胞とのバランスを考慮した価格設定            など

## JMDPの国際活動 (1)

---

- 1993.10: 北米骨髄バンク(National Marrow Donor Program NMDP)年次総会に初めて参加し、JMDPの設立と海外への骨髄の提供についての説明を行った。
- 1997.4: NMDPと正式提携し、国際coordinationを開始した。
- 1997.9: 世界骨髄バンク機構 (World Marrow Donor Association WMDA)に正式加盟した。
- 1998.4: 台湾骨髄バンク (Buddhist Tsu-Chi Stem Cell Center BTSCC)と正式提携し、国際coordinationを開始した。

## JMDPの国際活動 (2)

---

- 1998.4: 世界骨髄バンクドナーHLA種類別データ集計システム (Bone Marrow Donor Worldwide BMDW) に正式参加し、HLAデータの提供を開始した。
- 1999.9: 韓国骨髄バンク (Korean Marrow Donor Program KMDP) と提携し、国際coordinationを開始した。
- 2000.1: JMDP 国際委員会委員長の岡本が、WMDA のVice President, Accreditation Committeeのchairmanに就任し、積極的にWMDAの活動に参画した。

## JMDPの国際活動 (3)

- 2004.5: WMDAの第5回国際骨髄バンク会議 (International Donor Registry Conference) を慶應義塾大学血液内科とJMDPが協力して東京で開催した。



## JMDPの国際活動 (4)

---

- 2007.10: 中国骨髓バンク (China Marrow Donor Program CMDP) と正式提携し、国際coordinationを開始した。
- 2007.11: JMDPがWMDAの認定 (Accreditation)を受ける。
- 2008.11: JMDP大西がWMDA のSecretaryに就任した。
- 2013. 4: 2008年から5年が経過し、現在、WMDA の認定の更新の準備を進めている。